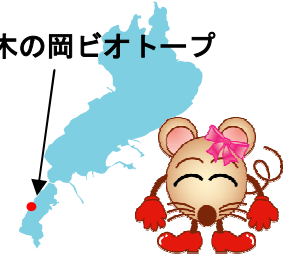


おにぐるみの学校では、木の岡地区に残された貴重なビオトープを子供たちに残していくために、このビオトープを守る活動を行っています。

このニュースレターは、「木の岡ビオトープ」や、「おにぐるみの学校の活動」をより多くの人に知っていただくために、定期的に発行するものです。

木の岡ビオトープ



春の自然観察会(H22年3月7日)

●植物観察

大人グループと子どもグループに分かれて植物観察をしました。大人は植物観察、子どもは、森の生物探しをしました。



●水鳥観察

ビオトープ湖岸で水鳥観察をしました。たくさんのカモ類を観察することができ、カモにもいろいろな種類がいることが勉強できました。



●野草の天ぷらとおにぐるみの試食

アザミ、ミツバ、フキノトウ、ヨモギ、ツバキ、クローバー、ハコベの7種類を天ぷらにして食べました。



夏の自然観察会(H22年8月30日)

●植物観察

春の自然観察観察会に続いて森の生物探しをしました。春と違って、草木が生い茂っているから、少し難しかったかな？



●クラフトづくり

ぼうの先にひもとせみのおもちゃをつけて、ぐるぐる回すとせみのなき声をするおもちゃをつくりました。



●野草の天ぷらの試食

夏の自然観察会でも、野草の天ぷらで昼ご飯を食べました。クズ、クローバー、ヨモギ、アレチヌスビトハギ、セイタカワダチソウ、ミョウガの8種類を食べました。



夏の植物モニタリング(H22年8月30日)

◆植物のモニタリングを行いました。

H15年に滋賀県で実施した植物調査では、340種類の植物が確認されています。

今回の調査は夏に限定しているにもかかわらず、275種類の植物を確認することができました。

木の岡ビオトープの豊かな植物が引き続き保全されていることが確認できました。



冬の自然観察会(平成22年12月5日)

●野鳥観察

ビオトープと湖岸で野鳥観察を行いました。ハイタカ、トビ、ダイサギを観察できました。

バン、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロのなき声もきくことができました。



●おにぐるみの試食

おにぐるみひろいをした後に、みんなでおにぐるみの試食をしました。

自然の味が大好評でした。



●ドングリの木の植樹

H18年から育ててきたドングリの苗木を入り口の通路にそって植樹を行いました。



おにぐるみの学校について

◆一緒に木の岡ビオトープを守りませんか?◆

おにぐるみの学校では、木の岡ビオトープで自然観察会の開催や清掃などの活動を行っています。

木の岡ビオトープの保全・利用に向けたこれらの活動に理解・賛同し、活動に参加もしくは支援して下さる個人や団体を対象に会員募集を行っています。

会員の方は、ニュースレター“おにぐるみ通信”の配信や、各種活動の案内のご送付、イベント等へ優先的にご参加いただけます。

みなさんで木の岡ビオトープの現状を理解し、地域に親しまれ、愛される場所としていくための活動に取り組んでみませんか。みなさんのご参加をお待ちしております。



発行者

◆ おにぐるみの学校事務局（滋賀県土木交通部河港課河川環境担当）

TEL:077-528-4154 FAX:077-528-4904 E-mail: ha04@pref.shiga.lg.jp

URL : <http://www.pref.shiga.jp/h/kako/>